

ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ベ ト 病	灰 色 か び 病	う ど ん こ 病	菌 核 病	つ る 枯 病	軟 腐 細 菌 病	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	フ キ ノ メ イ ガ	オ オ タ バ コ ガ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
ハツパ乳	NC		-	-			◎										
マスタピース水	NC		1	-						◎							
Zボルドー水	M1		-	-						◎							
トップジンM水㊟	1		1	3			◎										
ベンレート水㊟	1		1	3				◎	◎								
アフエツトFL	7		1	3			◎										
パレード20FL	7		1	3			◎										
アミスター20FL	11		1	4			◎										
ストロビーFL	11		1	3			◎										
ランマンFL	21		1	4	◎												
ロブラール水	2		1	4		◎											
サンヨール乳	M1		1	4			◎										
ヨネボン乳	M1		1	4	◎												
ダコニール1000FL	M5		1	3			◎										
ゲッター水㊟	1・10		7	3		◎											
パンチョT F 顆水	3・U6		1	2			◎										
スピノエース顆水	5		1	3									◎				
ネマトリンエース粒	1B		*b	1													◎
アディオン乳	3A		7	3						◎				◎			
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		1	2						◎							
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*a	1						◎	◎						
			*c	1						◎							
ベストガード粒	4A		*a	1								◎					
アフアーム乳	6		3	2													◎
チェス顆水	9B		1	2						◎							
コルト顆水	9B		1	3						◎							
カスケード乳	15		1	4										ト			
モベントFL	23		1	3						◎	◎						
プレバゾンFL 5	28		1	3									◎				
ウララD F	29		1	2						◎							

㊟:チオファネートメチル含有剤 ㊟:ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作
での㊟は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く、詳細
はP.856 参照)。

*a:定植時 *b:定植前 *c:生育期(但し収穫開始14日前まで)

ト:トマトハモグリバエ

ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 ドイツボルドーA(水)* 500～1000倍 Zボルドー(水)* 500倍 	*野菜類での登録。葉害回避のため試し掛けする。
うどんこ病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 イオウフロアブル* 500～1000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 トップジンM水和剤● 1500倍 パンチョT F 顆粒水和剤● 4000倍 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 *野菜類での登録。葉害回避のため試し掛けする。
モザイク病		<ul style="list-style-type: none"> アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 	
アブラムシ類	定植時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを植穴に土壌混和する。 アルバリン粒剤 2g/株 スタークル粒剤 2g/株 	
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 	
コナジラミ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 モベントフロアブル 2000倍 	
アザミウマ類	定植時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を植穴に土壌混和する。 ベストガード粒剤 1～2g/株 	
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000～10000倍 	
フキノメイガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 	
オオタバコガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 アフーム乳剤 2000倍 	
ネコブセンチュウ	定植前	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を全面施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10a 	